仕様一覧

スーパーバイザエンジン仕様

スーパーバイザエンジン		SUP8-E	SUP7-E	SUP7L-E
アップリンクポート数	1000BASE-X (SFPスロット)	–	–	2
	1000/10GBASE-X (SFP/SFP+スロット)	8	4	2
スイッチファブリック (Gbps)		928 (WS-C4510R+E搭載時)	848 (WS-C4510R+E搭載時)	520 (WS-C4507R+E搭載時) [*1]
MACアドレステーブル		最大 55,000 (スタティック登録可)		
IPルーティング	IPv4	最大 256,000 [*2]	最大 256,000 [*2]	最大64,000 [*2]
	IPv6	最大 128,000 [*2]	最大 128,000 [*2]	最大32,000 [*2]
VLAN		1～4,094 (同時アクティブ数:最大 4,096)		

*1 10スロットシャーシは非サポートです。
*2 ユニキャスト/マルチキャストで共用です。

各シャーシのモジュールスロット数、最大ポート数

シャーシ		WS-C4503-E	WS-C4506-E	WS-C4507R+E	WS-C4510R+E
スロット数	スーパーバイザエンジン	1	1	2	2
	ラインカード	2	5	5	8
	FANモジュール	1	1	1	1
	電源モジュール	2	2	2	2
最大ポート数 [*1]	10/100BASE-TX (RJ-45)	最大 96	最大 240	最大 240	最大 384
	100BASE-FX (MT-RJ)	最大 96	最大 240	最大 240	最大 384
	100BASE-X (SFPスロット)	最大 96	最大 240	最大 240	最大 384
	10/100/1000BASE-T (RJ-45)	最大 96	最大 240	最大 240	最大 384
	1000BASE-X (SFPスロット)	最大 96	最大 240	最大 240	最大 384
	1000BASE-X (SFP/CSFPスロット)	最大 160	最大 400	最大 400	-
	10GBASE-X (X2スロット)	最大 12	最大 30	最大 30	最大 48 [*3]
	10GBASE-X (SFP+スロット)	最大 24	最大 60 [*2]	最大 60 [*2]	最大 96 [*3]

*1 物理的に実装可能なポート数の最大値です。スーパーバイザエンジンのアップリンクポートは含みません。
*2 SUP8-E、SUP7-E、SUP7L-E搭載時の値です。
*3 SUP8-E、SUP7-E搭載時の値です。

安全に関するご注意 ★本製品の設置・接続・使用に際しましては、取扱説明書などに記載されております注意事項や禁止事項をあらかじめ熟読のうえ、必ずお守りください。

人と地球にやさしい情報社会へ

お問い合わせは、下記のNECへ
企業ソリューション事業本部
URL:http://jpn.nec.com/datanet/cisco/

Specialization
- Advanced Data Center Architecture Specialization
- Advanced Borderless Network Architecture Specialization
- Advanced Collaboration Architecture Specialization

●本製品の製造元はシスコシステムズ合同会社です。
●Cisco、Cisco Systems、およびCiscoロゴは米国およびその他の国におけるCisco Systems,Inc.の商標または登録商標です。
●その他の社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
●本製品は利用するOS、アプリケーションにより、外国為替及び外国貿易法の規定に該当する場合がありますので、日本国外に輸出する場合には、同法に基づき日本国政府の輸出許可又は役務許可が必要です。従って、本製品を日本国外へ輸出する場合にはOS、アプリケーションが該当か非該当かの確認が必要です。
●本カタログに掲載されている内容は、改良のため予告なくデザイン・仕様を変更することがあります。

日本電気株式会社 〒108-8001 東京都港区芝五丁目7-1 (NEC本社ビル)
2014年3月現在 Ver2 20140331BCC435

Empowered by Innovation NEC

マルチレイヤスイッチ

Catalyst4500-Eシリーズ

http://jpn.nec.com/datanet/cisco/

高い性能と信頼性に加え、先進機能に対応したシャーシ型マルチレイヤスイッチ。小・中規模のコアから大規模アクセスまで、幅広いネットワークに対応。

Catalyst4500-Eシリーズは高い性能と信頼性に加え、Flexible NetFlowによるトラフィックの可視化や60WのPoE給電を可能にするUPOE（Universal PoE）などの先進機能を提供。小・中規模ネットワークのコアから大規模のアクセスまで幅広いネットワークに対応します。

製品概要

■ 製品概要

・シャーシ全体で928Gbps（※）のスイッチファブリック、1スロットあたり48Gbpsの広帯域により1GbEポート及び10GbEポートの高密度収容に対応。　※SUP8-Eを搭載したWS-C4510R+Eの値

・スーパーバイザの二重化（※）や電源の二重化等によるハードウェアの冗長に加え、VSS（Virtual Switching System）、ISSU（In Service Software Upgrade）機能による高い信頼性・可用性を提供。

・スイッチ間、デバイス－スイッチ間のトラフィックを暗号化する IEEE802.1AE（MACsec）機能や、トラフィックのフローを「見える化」するFlexible NetFlow機能など、セキュリティやネットワーク管理に貢献する機能を提供。

・ポートあたり最大60WのPoE給電が可能な UPOE（Universal PoE）機能をサポート。より電力を要する高機能な機器などもCatalyst4500-Eで収容することにより、電力・ネットワーク管理の一元化が可能。

・シンプルなハードウェア構成及びIEEE 802.3az Energy Efficient Ethernet（EEE）などの省電力機能により低消費電力を実現。

■ 製品構成

ポート数・速度、スーパーバイザ冗長、PoE給電の有無などの要件に応じて多様なシャーシ及びモジュールから選択し、構成できます。

シャーシ

搭載ポート数、スーパーバイザエンジンの冗長など、ネットワーク規模や構成に応じて選択可能な3，6，7，10スロットのシャーシを提供。

WS-C4510R+E
最大で384ポートの1GbEまたは96ポートの10GbEを搭載でき、スーパーバイザ冗長に対応

スーパーバイザエンジン

高性能のSUP8-E/7-Eと価格を抑えたSUP7L-Eを小・中規模のコア/ディストリビューション、アクセススイッチ等の用途に応じて選択可能。

SUP8-E
928Gbpsのスイッチファブリック、250Mppsのスループットを提供

ラインカード

10M～10Gbpsのポート速度や、SFP/SFP+などのインターフェース仕様、またUPOE（ポートあたり60WのPoE給電）、MACsec機能対応などの多様なラインカードを提供。

WS-X4748-UPOE+E
UPOEに対応した48ポート10/100/1000BASE-Tラインカード

電源モジュール

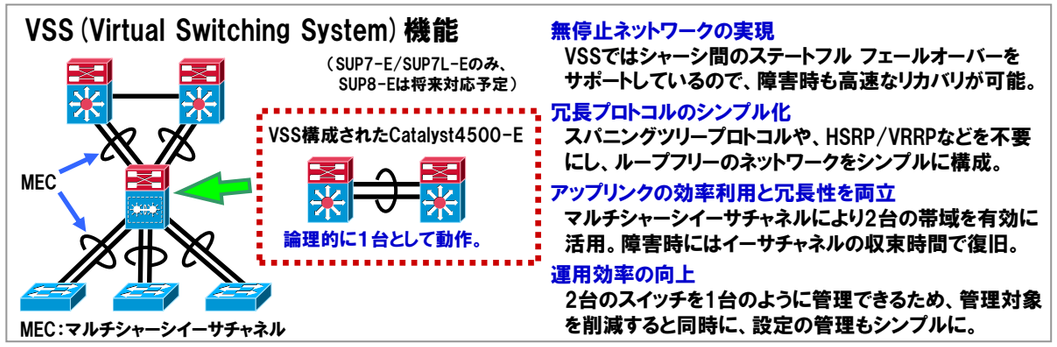
入力電源（AC/DC）、出力電力、PoE出力の有無などにより、1000Wから9000W出力対応の機種まで、豊富なラインナップ。2台の電源による冗長構成の他、2台の出力を合せて利用する複合モードにより、大容量のPoE出力にも対応。

PWR-C45-9000ACV（200V）
9000Wの出力（内7500WはPoE出力）が可能な電源モジュール

特長

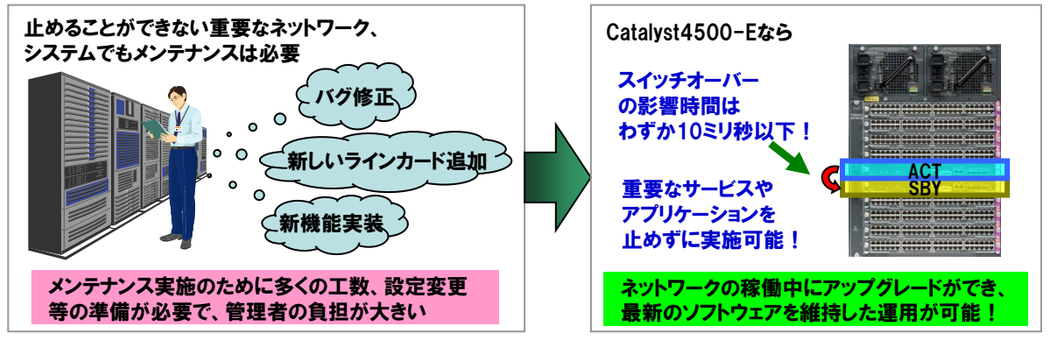
■ VSS（Virtual Switching System）機能により、ネットワークの冗長性や管理性の向上に貢献

VSS機能は2台のCatalyst4500-Eで仮想的なクラスタを構成することにより、2台分のパフォーマンス、高密度なアップリンク、高い信頼性と運用効率を持つ1台のスイッチとして動作します。



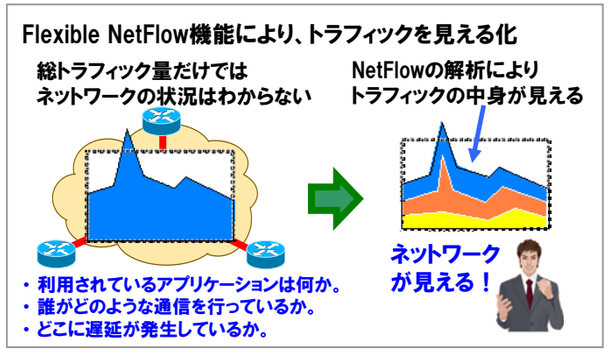
■ ISSU（In Service Software Upgrade）機能によりダウンタイムのないメンテナンスを実現

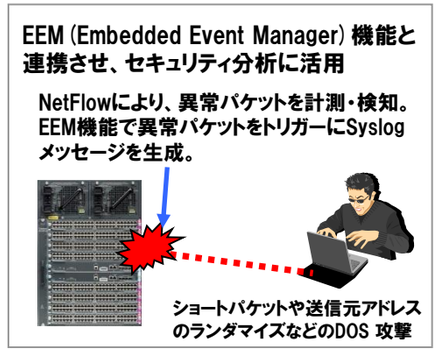
スーパーバイザエンジンを二重化した Catalyst4500-EシリーズでISSU機能を利用することよりスーパーバイザエンジンのスイッチオーバー中でもパケット転送を継続でき、ネットワークを停止することなくシステムソフトウェアをアップグレードできます。これによりメンテナンスによるダウンタイムが抑えることが可能です。



■ Flexible NetFlow機能によりネットワークトラフィックを見える化

Flexible NetFlow機能はネットワーク トラフィックを監視、フローごとに分類し、詳細な解析を可能にします。宛先/送信元のIPアドレスやポート番号を始め、Macアドレス、VLAN、IPv6ヘッダ情報など、多くのキーを任意に選択することが可能なため、目的に応じて柔軟な解析ができ、様々な用途・ニーズに活用できます。





■ UPOE（Universal PoE）機能によりPoEの利用を拡張

ポートあたり最大60WのPoE給電が可能なUPOE（Universal PoE）機能により、従来のPoEでは電力不足となるような、より高機能の機器も収容することにより、電力・ネットワーク管理の一元化が可能です。